～しゃきょうのたまちゃんがお伝えする東大和のボランティア情報紙～

たまボラ

1月号 2025 VOL. 50

東大和ボランティア・市民活動センター
発行：東大和市社会福祉協議会
所在地：東大和市中央3-912-3
電　話：042-564-0012（代表）
ＦＡＸ：042-564-3680

P. 1 ボランティア講座・参加者募集のお知らせ
P. 2 福祉祭が開催されました
第２回傾聴ボランティア研修会実施
P. 3 ボランティア運営委員訪問録
「東大和どろんこ保育園」
P. 4 ぼらセンからのお知らせ



令和６年度 ボランティア講座 参加者募集！

東大和ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア活動に関心がある方、始めてみたい方におすすめのボランティア講座を開催します。
ぜひ、この機会に参加してみませんか！！
（詳細についてはお問い合わせください）

★申込み・お問合せ★
東大和ボランティア・市民活動センター
TEL：０４２―５６４―００３５
またはHPから(参加費無料)
締切: **基本編** ３/７（金） **災害編** ３/１４（金）
施設編 ３/２１（金）
※申込み多数の場合は抽選

基本編
「ボランティアを始めよう！福祉について学ぼう！」
〈会場：社会福祉協議会〉
・ボランティアの基本について
・車いす体験
〈定員：２０名〉
日時：令和７年３月１１日（火）
１４：００～１６：００

災害編
「能登半島地震のボランティア経験談から災害ボランティアについて考えよう！」
〈会場：社会福祉協議会〉
・講話
〈定員：２０名〉
日時：令和７年３月１９日（水）
１３：３０～１５：３０

施設編
「施設でのボランティア体験をしよう！」
〈会場：特別養護老人ホーム やまと苑〉
・施設見学 ・シーツ交換体験
・高齢者福祉についての講話
〈定員：3名〉
日時：令和７年３月２３（日）
９：３０～１２：００

◎「たまボラ」５０号に寄せて

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。東大和のボランティア情報誌「たまボラ」は、２０１６年（平成２８年）６月に創刊されました。発行は、東大和ボランティア・市民活動センターが担い、年６回程度発行しています。２０１７年（平成２９年）６月には、東大和ボランティア・市民活動センター運営委員会が設立され、市民（委員）の声を反映したより充実したセンター活動が開始されましたが、その委員が持ち回りでボランティア活動紹介記事を担当し、本紙の一翼を担っています。

現在センター登録のボランティアグループは２０グループ、個人は５４名、さらには募集情報を持つ福祉施設が４０団体ほどあり、「たまボラ」はこれらの活動の情報ばかりでなく、講習会や訓練・イベントなどボランティアに関連した情報を提供しています。運営委員会の「つどう」「つなげる」「つくる」「つたえる」の理念のもと、東大和のボランティアの和（輪）がさらに大きくなっていくことを願っています。

（プチ情報：「たまボラ」内では、各号いろいろな姿・表情のたまちゃんがみられます。）

東大和ボランティア・市民活動センター運営委員長　高田　宗臣

福祉祭が開催されました！

１１月１０日（日）に能登半島地震・令和６年９月能登半島豪雨復興支援第４７回東大和市福祉祭が東大和市中央公民館とその周辺を会場として開催されました。テーマは、～助け合い 協力すれば かべはない～（令和６年度福祉標語最優秀作品）でした。当日は、ボランティアとして２８名が活動しました。活動内容は、会場案内、ホール内での受付・手伝い、駐輪場の案内・整理、サテライト本部、たまちゃん（着ぐるみ）などでした。ボランティアの皆さんは、職員の気付かない部分まで配慮して、ボランティア同士で協力し合いながら活動してくださいました。ボランティアの方からは「本市に在住していても地域の方との交流が少ないため、このような場で市民の方と交流できたことが新鮮で良かった」「福祉祭のボランティアは初めてだったが、盛大な催しで、ステージで行われた狭山ばやしなど地域の文化に触れることができ良かった」との感想がありました。

当日は寒い中、朝早くからご協力いただきありがとうございました。


開会式の様子



福祉標語表彰式


会場案内ボランティア


たまちゃんも楽しそう！

第2回傾聴ボランティア研修会を実施します！

東大和ボランティア・市民活動センターでは、以下の日程で令和６年度
第２回傾聴ボランティア研修会を開催します。

日　時　：令和７年２月１５日（土）１４：００～１６：００
場　所　：奈良橋市民センター　３階　奈良橋地区会館　集会室
テーマ　：「身近に困っている人がいたとき、どのように傾聴したらよいか
　　みんなで考えましょう！」
講　師　：肥田　道彦（こえだ　みちひこ）氏
　　（日本医科大学多摩永山病院　精神神経科部長・准教授）
対　象　：第１回研修会に参加した方、ボランティア活動者及び傾聴ボランティアに興味のある方
定　員　：８０名（申込順）
申込期間：令和７年１月１５日（水）～２月１０日（月）
申込方法：本会HP 申込フォームから
問合せ　：東大和ボランティア・市民活動センター　電話（０４２－５６４－００３５）

☆第１回傾聴ボランティア研修会の様子



講師による講話（左）と演習（右）



２人１組ロールプレイ（参加者同士）

みつけた！
こんなところ
あんな活動

～ボラセン委員訪問録～

東大和どろんこ保育園



宮澤園長（左）長澤主任（右）

２０２４年４月に立野に開園した「東大和どろんこ保育園」を取材させていただきました。「東大和どろんこ保育園」は全国１８０ほど保育園等の施設を運営している社会福祉法人どろんこ会に所属する「子ども発達支援センターつむぎ 東大和」と「子育て支援センター」を併設した複合型の保育施設です。
今回は、宮澤園長と長澤主任にお話を伺いました。

理念

にんげん力。育てます。
「生きる力」を育む様々な体験プログラムを行っています。

地域との関わり

月曜から土曜まで園庭を開放しており、学校が終わった小学生や地域の方が触れ合える環境を用意しています。また子育て支援センターちきんえっぐは、子育て中の保護者の方が息抜きやおしゃべりができる場所を提供していて、地域コミュニティの活性化につながるよう考えています。また、市内の農園や銭湯、飲食店などにご協力いただき、お店の方や地域の方との関わりの中で子どもたちはお店の役割や社会の仕組みを学んでいます。

まだまだこれから地域との関わりを増やしていきたいと考えています。

どろんこ保育園を覗いてみよう





子育て支援センター
ちきんえっぐ



どろんこ保育園　園庭

先生方から一言

【宮澤園長】

「東大和どろんこ保育園」は「子ども発達支援センターつむぎ 東大和」を併設している施設です。

子どもたちは障害の有無にかかわらず、環境を隔てずに一緒に過ごしています。地域の方にもたくさんご来園いただき、いろいろな体験が一緒にできたらいいなと思っています。園の情報をたくさん発信していきますので、多くの方に足を運んでいただけたらうれしいです。

【長澤主任】

黄色い帽子を被った子どもたちと緑のポロシャツを着た職員を見かけたら「おはよう！」「どこ行くの？」と声をかけていただけるような関係性を地域の方々と築いていきたいと思っています。

地域の方にもご参加いただける園の行事や園庭開放、ちきんえっぐもありますので、ぜひ遊びにきてください。子どもたちと職員、サニー（ヤギ）と鶏がお待ちしています。

～感想～

守るだけの保育ではなく、こども達にとにかく体験をさせていることが印象的で、家族のような保育園でした。園児は皆、兄弟姉妹のように助け合い、守り合い、競い合い、笑い合っていました。

先生方の印象も指導するのではなく、見守りベースのまさにこども達の好奇心や成長を育んでいると感じられました。今の社会にとても必要な保育園、いや、コミュニティだと感じました。感動しました。

東大和ボランティア・市民活動センター
運営委員　伊藤　良雄

ぼらセンからのお知らせ

募集 第６０回「東京都公園協会賞」募集について

公益財団法人東京都公園協会では、東京を緑豊かで潤いのある都市にするため、東京都公園協会賞の募集を行います。今回は、第６０回を記念して学生向けの特別部門「緑と水のデザイン特別部門」が新設されました。皆さまからのご応募をお待ちしています。応募締切は、令和７年３月２２日（土）必着。「緑と水のU25デザイン特別部門」（新設）のみ　令和７年２月１４日（金）必着となっております。応募は、指定様式で専用フォームからの応募となっておりますので、HPで詳細をご確認ください。

■東京都公園協会賞HP
https://www.tokyo-park.or.jp/assosiation/prize/index. html

応募様式：専用応募フォーム
https://form.run/@college-z0y71Pwi8dQriVXTHg1r

【応募及び問い合わせ】
公益財団法人　東京都公園協会　緑と水の市民カレッジ事務局
〒１００－００１２
東京都千代田区日比谷公園１－５　３F
電話：０３－５５３２－１３０６

募集 介護老人保健施設「東大和ケアセンター」のボランティアを募集します！

【活動内容と活動日時】
①シーツ交換＋傾聴：毎週水曜日９時～１２時（食事付き）
②傾聴：月～土（時間は要相談）
③高齢者向け体操　：月～土の９時～１０時くらい、または１３時～１４時くらいでご都合の良い曜日でお願いします。

【活動場所】
東大和ケアセンター（南街１－１３－１）

【問い合わせ】
０４２－５６６－６６３１
担当：喜多村・井原
お気軽にお問い合わせ、ご応募ください！
まずは、見学からでもＯＫ！





募集 フードバンク事業ボランティア募集

本会では、フードバンク事業として、必要とする方へ食品を配布するフードパントリーを開催しています。また、市内のお店の協力により、設置している食品ボックスを回収するフードドライブ（食品の寄附受付）を行っています。この活動に協力いただけるボランティアを募集します。関心のある方はお問い合せください。

活動日等：月１～２回くらい
（地域によって異なります）

活動内容
①フードパントリーにおける食品配布や準備
②市内提携企業店からの食品回収や仕分け

【問合せ】東大和ボランティア・市民活動センター
TEL：０４２－５６４－００３５

福祉教育を実施しました

２学期は、２校で「車いす体験」（9/２７・１２/１０）、２校で「アイマスク体験と視覚障害者の方の講話」（１０/８・１２/１９）、１校で「高齢者疑似体験」（１０/２８）の計５回の福祉教育を実施しました。

「車いす体験」では、３人一組で、「乗る人」「押す人」「見守り・介助をする人」の３通りの役割を交代で行いました。体育館に曲がった道、ぬかるみや段差の道、砂利道など、町で車いすを利用する時に想定される道をつくり、コースを回りました。乗る人が安心していられるよう押し方や速度にも注意して熱心に学習しました。先生やボランティアの方にも車いすに乗っていただき、大人の方の車いすを押す重さも体験しました。

どの疑似体験も慣れないことを行うので、安全には十分な注意が必要です。子どもたちも良く理解して落ち着いて行動し、地域の方や保護者の方のボランティア参加も得て、安全で有意義な体験授業を行うことができました。



体験の前の説明



体験の様子と協力してくださった東大和市ボランティア会のみなさん

【紙面に関する問合せ】
東大和ボランティア・市民活動センター
TEL：042-564-0035　FAX：042-564-3680